

科目名		ビジネス教養B							年度	2025
英語科目名									学期	後期
学科・学年	マンガ・アニメーション科四年制 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義	
担当教員	高橋哲平			教員の実務経験		無	実務経験の職種	行政書士		
【科目の目的】										
クリエイターにとって身近にある著作権を学ぶことにより、今後プロとして正しく理解した活動が出来ることを目的とする。										
【科目の概要】										
クリエイターに必要な著作権を学び、ビジネス著作権検定Basicの取得を目指します。										
【到達目標】										
ビジネス著作権検定Basicの合格										
【授業の注意点】										
授業開始時に実施内容のポイントを解説するため遅刻厳禁。ノートPCなどの必要な機材を忘れないように注意する。また、シラバスについて修正がある場合は授業開始時に連絡する。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	実生活に即した具体的な 例を挙げてしっかりと説 明ができる	著作権に関する基本的な 理解があり、具体例をい くつか挙げることができ る	一般的な著作権の概念を 理解し、例を挙げること ができる	著作権に関する知識が不 十分であり、具体的な例 を挙げられない	著作権に関する理解が不 足しており、具体例もな い					
到達目標 B	著作権の重要性を深く理 解し、その背後にある理 由や社会的意義を明確に 説明できる	著作権の重要性を理解 し、一般的な理由や意義 を述べるができる	著作権の一般的な重要性 について基本的な理解が ある	著作権の重要性について 理解が浅く、一般的な理 由を述べられない	著作権の重要性について 全く理解しておらず、説 明できない					
到達目標 C	著作権法の目的や基本的 な原則を的確に把握し、 それを論理的に説明する ことができる	著作権法の目的を把握 し、基本的な説明ができ る	著作権法の目的について 基本的な理解がある	著作権法の目的について 理解が不十分であり、説 明が曖昧である	著作権法の目的について 理解が不足しており、説 明ができない					
到達目標 D	著作権の概念を包括的に 理解し、関連する具体例 を多く挙げることができ る	著作権の概要を理解し、 いくつかの具体例を挙げ ることができる	著作権の概要について基 本的な理解がある	著作権の概要について理 解が不十分であり、具体 例を挙げられない	著作権の概要について理 解が不足しており、具体 例もない					
到達目標 E	著作権法の範囲内で保護 される著作物やその特徴 を明確に把握し、具体例 を示すことができる	著作権法の範囲内で保護 される著作物について理 解し、いくつかの具体例 を挙げるができる	著作権法の範囲内で保護 される著作物について基 本的な理解がある	著作権法の範囲内で保護 される著作物について理 解が不十分であり、具体 例を挙げられない	著作権法の範囲内で保護 される著作物について理 解が不足しており、具体 例もない					
【教科書】										
参考書・参考資料等は授業中に指示する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
授業内容の理解度をレポートを提出して評価する。また積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ビジネス教養B				年度	2025
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		生活に身近な著作権	日常生活上の著作権について考察する。	2	
					著作権の学習がなぜ必要なのかを理解する。		
					著作権法の目的について理解する。		
2	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作権の概要	著作権の概要について考察する。	2	
				著作物の概要	著作権法で保護される著作物とは何かを理解する。		
					著作物として認められるための要件について理解する。		
3	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作権法で保護される著作物	著作物の要件について詳細を理解する。	2	
					特別な著作物（二次的著作物を中心に）について理解する。		
					具体的事例をもとに著作物について考察する。		
4	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		ミニテスト①の実施	ミニテスト①の実施（著作権法の目的、著作物の定義）	2	
				著作者とは①	ミニテスト①解説講義		
					著作者の定義、概要について考察する。		
5	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作者とは②	著作者の定義について理解する。	2	
				著作者と著作権者の違い	特別な著作者として職務著作について理解する。		
				著作者の権利①	著作者と著作権者の違いについて理解する。		
6	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作者の権利②	著作者人格権の性質について理解する。	2	
					氏名表示権と公表権、同一性保持権を理解する。		
					著作財産権の性質について理解する。		
7	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作者の権利③	著作財産権の種類について理解する。	2	
				ミニテスト②の実施	ミニテスト②（著作者の権利）の実施		
					ミニテスト②の解説講義		
8	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		保護期間	著作権の保護期間について理解する。	2	
				著作権の譲渡と利用許諾	著作権の譲渡、譲渡契約における留意点について理解する。		
					利用許諾契約、許諾契約における留意点について理解する。		
9	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		権利制限規定①	権利制限規定の制定趣旨について理解する。	2	
					私的使用、教育利用、非営利無償、引用を中心に理解する。		
10	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		権利制限規定②	その他の権利制限規定（福祉、報道等）について理解する。	2	
				ミニテスト③の実施	ミニテスト③（保護期間、譲渡、許諾、権利制限規定）		
					ミニテスト③の解説講義		
11	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作隣接権	著作隣接権の性質について理解する。	2	
				著作権侵害①	著作隣接権の対象者について理解する。		
					直接侵害、みなし侵害について概略を理解する。		
12	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		著作権侵害②	著作権侵害について具体的事例をもとに理解する。	2	
					著作権侵害における罰則について理解する。		
					親告罪、非親告罪の対象範囲について理解する。		
13	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		産業財産権	産業財産権について概要を理解する。	2	
				ミニテスト④の実施	ミニテスト④（著作隣接権、著作権侵害、産業財産権）の実施		
					ミニテスト④の解説講義		
14	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験対策		模擬試験の実施	学習成果の復習を兼ね模擬試験を実施する。	2	
					解説講義の実施		
15	著作権を正しく理解する	ビジネス著作権検定Basic受験		本試験	ビジネス著作権検定ベーシック試験受験	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等